

築地本町二丁目会文書概要

1:文書群番号	082007
2:文書群名	築地本町二丁目会文書
3:出所	築地町
4:家業・役職等	-
5:地名	摂津国川辺郡尼崎築地町／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市 築地本町
6:行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼崎町／尼崎市
7:歴史	築地町は近世以来の尼崎町の町名。尼崎に入封した青山氏(幸成系)が1652年(承応元)に中国街道を城の南側の小島と葭島に付け替える工事を計画し、1664年(寛文4)二つの島が橋で結ばれ、両島の上に整然とした碁盤型街路の築地町が完成した。北の浜筋には材木屋がならび、南の大浜地先は網干し場で近くには漁師が集住していたと推測される。
8:伝来	昭和57年(1982)10月、築地本町二丁目会より寄託。
9:史料入手先	築地本町二丁目会(原蔵団体)
10:点数	41点(目録件数41件)
11:年代	弘化2年(1845)～昭和33年(1958)
12:構造と内容	本文書群は、築地町のうち本町2丁目関係の史料で、近世史料が4点のほかは明治から昭和にかけてのものである。ほとんどが町入用、町行事の金銭出納関係史料である。 近世史料には、嘉永7年(1854)の大地震による尼崎町の被害を詳述した「異国船につき人足控日記」などがある。
13:関連史料	-
14:閲覧条件	原本
15:作成者	中村由佳